

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月16日

山口県知事 村岡 嗣政 様

提出者

住 所 山口県周南市古市1丁目13番15号

氏 名 誠和工機株式会社

取締役社長 羽嶋 範昭

電話番号 0834-63-0066

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	誠和工機株式会社
事業場の所在地	山口県周南市古市1丁目13番15号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06 総合工事業
②事業の規模	7,777(百万円)
③従業員数	159人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物発生場所(各工事現場・作業場) ↓ 自社運搬 委託収集運搬業者 ↓ 委託中間処理業者(破砕、選別 圧縮・切断、等) ↓ 委託最終処分業者(埋立、再資源化、等)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙-1のとおり。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1、-2のとおり	
	排出量	別紙2-1、-2のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1、-2のとおり	
	排出量	別紙2-1、-2のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 令和4年度は、定修工事、設備更新工事、建設工事において、金属屑類、ガラス・陶磁器屑類の排出が増加し1,000 tを超過。 本年度も、定修工事、設備更新工事、建設工事等は予定されているため、排出の抑制に努めるよう、検討、協議を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物(管理型、安定型)は可能な限り分別廃棄。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、混合廃棄物も可能な限り分別廃棄する取り組みを検討。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	該当なし
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	該当なし
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

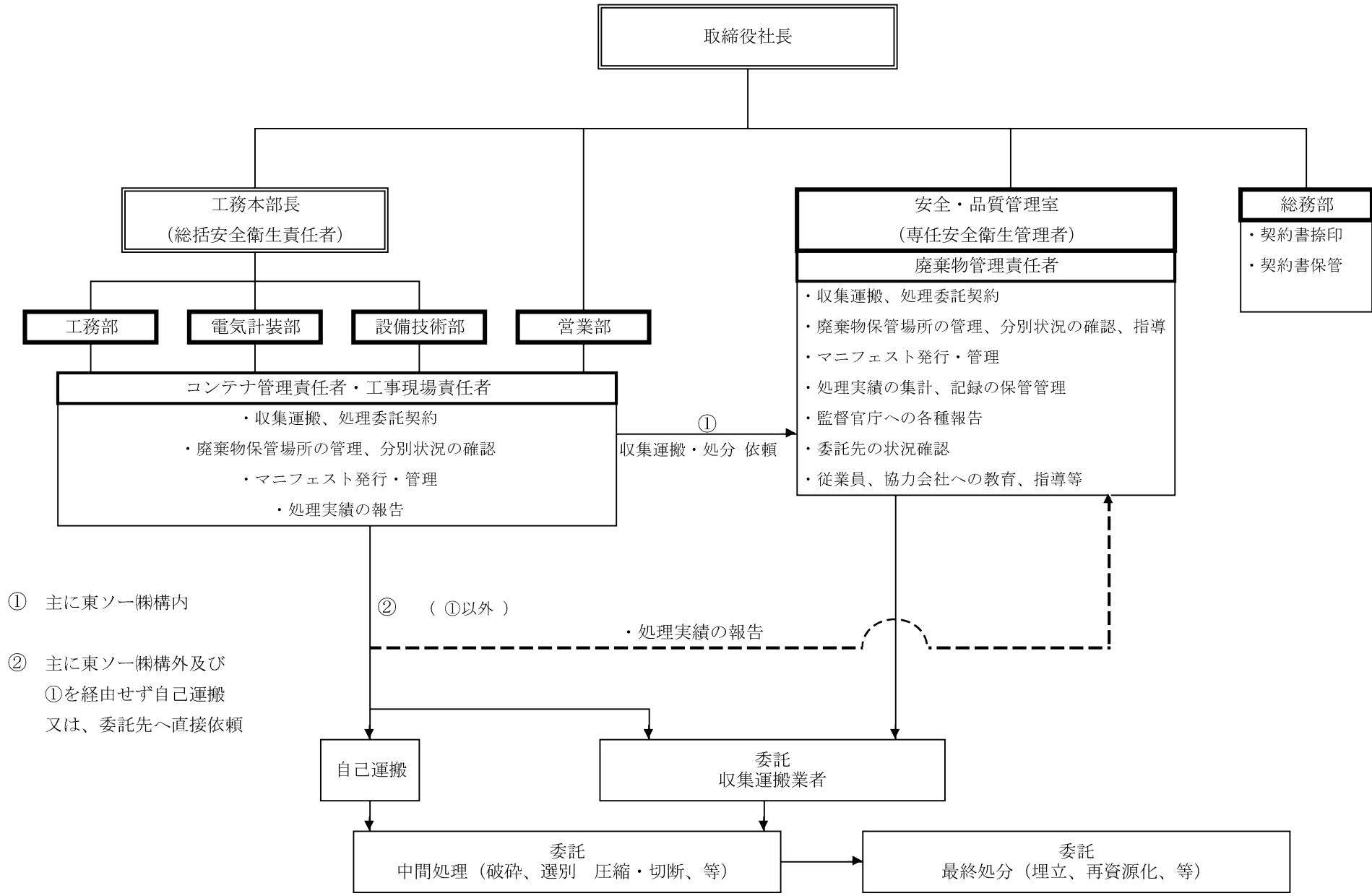
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1、-2のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従い、委託業者を選定、書面による契約を実施。 定期的に委託先への現地確認を実施。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1、-2のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ①現状の取組を継続して実施。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和5年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名称	誠和工機株式会社	所在地(市町名)	周南市	事業の種類	総合建設業
------------	----------	----------	-----	-------	-------

(単位:トン)

区分	種類	排出抑制に関する事項		自ら再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産 業 廃 棄 物	燃え殻																				
	汚泥	6.720	6.000								6.720	6.000	6.720	6.000							
	廃油	5.991	3.000								5.991	3.000	5.991	3.000							
	廃酸																				
	廃アルカリ																				
	廃プラスチック類	125.100	120.000								125.100	120.000	125.100	120.000							
	紙くず	2.562	2.000								2.562	2.000	2.562	2.000							
	木くず	3.520	3.000								3.520	3.000	3.520	3.000							
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
動物系固形不燃物																					
ゴムくず																					
金属くず	459.356	400.000								459.356	400.000	459.316	380.000								
ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず	103.240	90.000								103.240	90.000	103.240	80.000								
鉱さい																					
がれき類	3.940	3.000								3.940	3.000										
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん																					
13号廃棄物																					
計 (A)	710.429	627.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	710.429	627.000	706.449	594.000	0	0	0	0	0	0

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和5年度計画)

別紙2-2

区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	混合廃棄物/安定型 (腐字、ガラス粉砕物、 金属くず、ゴムくず、がれき 類)	108.167	100.000									108.167	100.000	108.167	100.000						
	混合廃棄物/管理型 (安定型のものとはそれ以外の 廃棄物(木くず、紙くず、等) の混合)	232.350	225.000									232.350	225.000	232.350	220.000						
	水銀使用製品産業廃棄物 (水銀灯、蛍光灯、乾電池)	0.140	0.100									0.140	0.100								
	石棉含有産業廃棄物	2.030	0.500									2.030	0.500	2.000	0.500						
	計 (B)	342.687	325.600	0	0	0	0	0	0	0	0	342.687	325.600	342.517	320.500	0	0	0	0	0	0
特別管理 産業廃棄物	廃石棉	0.600	0.000									0.600	0.000	0.800	0.000						
	低濃度PCB	0.800	0.000																		
	計 (C)	1.400	0.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0.600	0.000	0.800	0.000	0	0	0	0	0	0
別紙2-1 計 (A)		710.429	627.000	0	0	0	0	0	0	0	0	710.429	627.000	706.449	594.000	0	0	0	0	0	0
計 (A+B+C)		1054.516	952.600	0	0	0	0	0	0	0	0	1053.716	952.600	1049.766	914.500	0	0	0	0	0	0